

1 4 【ツクバネガシ】 衝羽根櫨

別名：メンガシ（雌櫨）



常緑 2年成り

カシの仲間で、枝先の葉のようすが羽根突き（はねつき）の羽根（衝羽根）に似ていることから。

ドングリ：アカガシのドングリと形がそっくりで、区別がむずかしい。熟したドングリには、あざやかなたてじまがあるものや、どうのまわりがでこぼこしているものが多い。

葉：革質。枝先の葉のつけぐあいが羽根突きの羽根のように見える。先がとがった形をしている。表側にややもりあがる。先端部にギザギザ（鋸歯）がある。葉柄は4から12ミリ。裏面は、淡緑色。

木：灰黒緑色や黒褐色。たてに割れ目が入る

15 【アカガシ】 赤櫨 別名：オオガシ（大櫨）



常緑 2年成り

櫨の仲間で、木材がやや赤みをおびていることから。

ドングリ：殻斗は、こまかい黄土色の毛におおわれている。
さらさらしている。ツクバネガシのドングリと
そっくり。

葉：鋸歯はない（前縁）。やや厚くてつやがあり、葉柄（ようへい）が長い（2～4cm）。裏側には毛がなく淡
緑色。

木：緑灰黒色。樹皮は成長するにしたがい、ぼろぼろには
がれる。

16 【スダジイ】 椎 別名：シイ（椎）



常緑 2年成り

ドングリの形が、シタダミ（巻き貝の昔の呼び名）に似ていることと、木が椎茸栽培に使われることから、シタシイとなり、これが転じてスダジイとなづけられた。

ドングリ：殻斗に包まれたままで成長し、熟すとバナナの皮をむくように殻斗がさけて、中から一個の実があらわれる。味はくりに似ておいしい。ツブラジイよりへそが大きい。長さ1.2～2 cm。卵状長楕円形。

葉：表側にはツヤがあり（濃い緑色）。裏側には金茶色がかった細かな毛がある。銀灰色のものもある。先は尾状にとがる。全縁か上部に鈍い鋸歯。

木：黒褐色。樹皮はなめらかなものが多いが、成長するにつれて、たてに割れ目が入る。